

し え ん し ゃ か い て き か だ い ヤングケアラー支援は社会的課題です

なぜヤングケアラーが注目されているの？

家族の人数が少なくなって、共働きが増える中、過度な負担を抱えている子どもを支える仕組みづくりが必要だよね。と、社会の問題として取り上げられるようになったんだよ。

ヤングケアラーは何が問題なの？

ケアを担うことで、自分の時間がなくなったり、やりたい事ができなかったり、ケアに疲れてしまって、いつも体がだるかったり、気持ちが落ち込んだり、進学や就職のことなど将来の事を考える余裕がなくなったりしてしまうんだ。

教育を受けることや遊ぶこと、自分の意見を表すこと、健康でいられるように適切な医療を受けることなど、子どもが基本的人権を守られるように社会の理解や気づきが必要なんだね

だ れ じ ぶ ん じ ん せ い い 誰もが自分の人生を生きるために

 SOS が出しやすい社会へ

 困った時に頼れるところをつくろう

 周囲の気づきと理解が大切

ヤングケアラーに関するご相談の直通電話:03-6858-2302



としま子どもなんでも相談 なやみみフリーダイヤル:0120-618-471



豊島区東部子ども家庭支援センターメール:A0019800@city.toshima.lg.jp



アシスとしま 直通電話 :03-4566-2476 アシスとしまのホームページはこちら



場所:東部子ども家庭支援センター(上池袋 2-35-22)内

相談時間:月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)8時30分～17時15分

ヤングケアラーとは・・・？

「ヤングケアラー」とは、本来なら大人が担うと想定されている家事や家族のお世話などを日常的におこなっていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものことをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼児きょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

家族のケアをすることによる生活への影響

- 時間のこと：遊ぶ時間、勉強する時間、眠る時間がない。
- 学校のこと：遅刻・欠席が増える、成績が下がる。
- 友人関係のこと：友達と遊べない、孤立する。
- 健康のこと：身体の不調、睡眠不足、やる気がでない。
- 将来のこと：進学や就学の悩み、相談できない。